

令和5年度「ユーサ浅虫」に係る事業報告書等評価結果

ユーサ浅虫については、一般財団法人青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

令和5年度の事業報告書等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認、検証し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和6年7月31日

施設名	ユーサ浅虫
設置目的	観光・レクリエーションなどの余暇活動の場を提供することにより、本市の観光及び地域振興を図り、併せて市民の健康の増進に資することを目的とします。
所在地	青森市大字浅虫字蛸谷341-19
指定管理者	【名称】一般財団法人 青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市雲谷字梨野木63番地
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	検証結果	評価結果	
		適正	要改善
管理について	職員配置については、地元雇用の推進、雇用・労働条件の適切な対応のほか、職員研修によるレベルアップを図っている。 令和4年7月に施設の一部をリニューアルしたが、施設管理については、年次・月次点検のほか、不具合箇所の修繕等を適切に実施している。 防犯・防災・緊急時の対応については、危機管理マニュアルを整備した上で、通報連絡・消火・避難誘導訓練を実施し地震・火災などの各種災害に備えているほか、災害時の指定避難所として開設要請があった際に対応できる体制（毛布・防災無線など）を備えている。 個人情報保護については、情報セキュリティ対策の徹底や保管場所の施錠のほか、職員に対し個人情報保護の意識を徹底するよう周知している。	○	
運営について	「道の駅」の3つの機能である「休憩機能」「情報発信機能」「地域との連携機能」に加え、公衆浴場や会議室使用について適正に運営している。 利用者に対しては、平等利用を確保するとともに、利用者の要望等を把握し反映させる仕組みを取り入れている。 サービス向上対策については、キャッシュレス化の導入やドライバー等に対する飲食需要への対応など工夫しながら効果的な来館者増加を図っている。	○	
事業実施結果について	自主事業としてゆーさ22周年祭（お買い得商品販売やテント村）やゆーさお盆の市（市場の営業時間延長）を実施するほか、広域事業として黒石市沖揚平や弘前市相馬地区、福島県会津坂下町による販売会を開催、また、地元飲食店やコーヒー店が出店するイベントなどを通して、地元住民や来館者へのサービス向上と地域振興に貢献している。	○	
収支決算書について	職員の創意工夫により事業収入（物販等売上）の増加に努めるとともに、できる限りの経費削減に取り組んでおり、収支については適正に処理されているといえる。	○	

【総合評価】

施設等の管理状況、自主事業を含めた各種事業の実施状況及び収支決算書については適正に行われている。
令和5年度は、売上が新型コロナウイルス感染症拡大前とほぼ同程度にまで回復し、収支決算において黒字化を達成したことは高く評価できる。

来館者数についても堅調に増加しており、夏季のみならず冬季の来館者も展望浴場を中心に増加している。指定管理者には引き続きの自主イベント等の自助努力をお願いするほか、利用者の安心安全だけでなく、スタッフの健康管理にも引き続き万全を期していただきたい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市経済部観光課
【電話】 017-734-5153
【メール】 kanko@city.aomori.aomori.jp